

声

みんなのひろば

農を楽しく



山根 令子
(上野)

農業委員になった時、女性の委員に何ができるのかとの想いがありました。そんな中で始めたことの一つに野菜づくり教室があります。10名の参加でスタートしました。農家であるのに、野菜を作るのも初めて、鋤を持

つのも初めての仲間もいました。農業改良普及所等の指導で、種蒔きから収穫、加工品作りにも取り組みました。野菜、加工品の美味しさには、皆が感激！野菜づくりの間も現在30名。皆で種を蒔き、いろんな苗を作り、

自分の畑で野菜、花などを作っています。一人でも多くの人に、「土」に関心を持つこと、農作物の美味しさを知ってもらうこと、これも農業委員の仕事(?)ではないのかと、思うこの頃です。

元気な大山町を目指して



杉原 俊雄
(富長東)

昨今、時代の変化は目まぐるしいものがあります。今までがこうだから……というよりも、変化には変化で対応しなければいけません。財政難の中、町としては、最小の予算で最大の効果が発揮できる予算づくりに苦心されているで

しょうが、他の市町村の人から、「何と、どうして住民の人がニコニコして明るく元気な人ばかりだろう！」と言われるような大山町づくりをお願いしたいと思います。ところで、最近寒くなるとズボンのポケットに手を入れて歩いている人

を見かけ、残念な気持ちでいっぱいになります。姿勢も悪くなり、階段等での転倒の危険もありますし、何よりも若さと活力がありません。さあ皆さん、ポケットから手を出し、胸を張り、さっそうと歩こうではありませんか!!

ちよつと違う花の楽しみ方です。



奥田 国雄
(八重)

私の所は花苗を生産しています。現在、流通している花のほとんどが海外からの品種ですが、花の楽しみ方でこんなのはいかがでしょう。それは、花の原産地・地方を世界地図と照らし合わせて見ると花に対しての見方が変わるかも知

りません。早春を告げる花ブリンラで、ジュリアンはヨーロッパ地方、マラコイデスは中国。ピオラはヨーロッパ地方。これから本番のクリスマスローズはトルコ、黒海周辺。エリカ、ゼラニウムは南アフリカ。トルコギギョウ

は北米。また、世界地図を赤道の所から折り曲げると日本と同じような緯度の国、例えばオーストラリア原産の花が多くあるのが納得できます。自分の家には、どんな花があるのか見て調べると、ちよつとだけ楽しくなるはずですよ。

あとがき

2008年の新しい年が明けた。中央と地方の経済格差や所得格差、輸入原材料の値上がりによる国内製品の値上げラッシュ、年金問題、道路特定財源の行方、また、米国の景気動向や地球温暖化による環境悪化など、内外の諸々の問題が多難な年を感じさせる。さて、議会だよりの編集では、「簡潔に解り易く」を目指しているが、あれも書きたい、これも伝えたいと、なかなか削れない。ケーブルテレビ議会中継の視聴率や、議会だよりがどれくらい読まれているか、知りたいものです。

皆様のご意見をお寄せ下さい。

《発行責任者》

議長 鹿島 功

《広報委員会》

委員長 西尾 寿博
副委員長 遠藤 幸子
委員 岡田 聡
委員 諸遊 壤司
委員 吉原美智恵
委員 近藤 大介